

# 編集後記

Postscript by the Editor

この度、広報アドバイザーとして、「いちよう並木」の編集のお手伝いをする事になりました。本来であれば任期は2年ですが、前任の原田和生先生（前副編集長）が部局の事情で1年で交代されることになり、残りの1年間、私が後任を務めることになりました。

広報アドバイザーに就任するや、任期2年目には編集長を務めるとのルールに従って、いきなり編集長を仰せつかり、その初仕事となったのが、後藤邦彰前編集長や企画・広報課のスタッフの方々のサポートをいただきながら三浦先生（副編集長）とともに行った今回のインタビュー（今号の特集企画）でした。

国立大学改革が急速に進行しつつある現在、岡山大学のいま、そしてこれからについてわかりやすく情報発信する広報誌の役割はますます大きくなると思います。今回の特集の続編も含めて、今後とも、微力ながら、魅力的な誌面作りのお手伝いができるばと思っております。よろしくお願いたします。

法学部准教授 ● 高橋 正徳

この度「いちよう並木」の副編集長をお引き受けしました環境生命科学研究科の三浦です。

岡山大学には昭和54年（1979年）に農学部が助手として赴任し、その後、環境理工学部に移りました。岡山大学に来て35年が経ちましたが、同じ大学に居ても、しかも長く居てもはじめて見聞きすることが非常に多いです。

先日、今回の特集のため、学長の森田先生、副学長の谷口先生に、大学改革についてインタビューを行いました。いつもは学部長、研究科長を通して聞いていることを直接聞く機会が持てました。同じ内容のことでも直接会うと印象が異なるとうろもありました。

「いちよう並木」ではその辺りのことも含めて伝えられれば、また手に取っていただき易い紙面になればと思っております。

2年間、お世話になりますが、よろしくお願いたします。

環境理工学部教授 ● 三浦 健志

## 岡山大学生協同組合



岡山大学生協では、鹿田キャンパスの発掘調査で出土した絵馬を復元した「オリジナル絵馬」を販売しています。図柄は猿が馬を引く「猿駒曳（さるこまひき）」と「牛」の2種類。学生だけでなく、考古ファンや受験生の家族がいる地域住民など、学外からの人気も集めています。

オリジナル絵馬は実物の3分の1サイズで、縦5.5センチ、横8センチ。「猿駒曳」は大型（縦9センチ、横14センチ）もあります。1枚324円（大型は1,296円）。津島キャンパス（ビーチユニオンショップ）、鹿田キャンパス（コジカシヨップ）で販売しています。津島キャンパスのビーチユニオン前では、絵馬がくりつけられる木があり、「岡山大学合格」など、さまざまなお願いが結んであります。

「最古の絵馬」のパワーを信じるか、信じないかは、あなた次第!!

# 最古の絵馬 にあやかろう! 学内外で人気

●絵馬は2013年4月の発掘調査で、鹿田遺跡にある奈良時代（8世紀後半）の井戸跡から2枚重なった状態で見つかりました。どちらも例としては国内最古です。「猿駒曳」は鞍などの馬具を装着した馬と手綱を持つ猿が描かれており、「牛」は頭や胴部に帯や布飾りの痕跡がみられます。



広告

リサイクル適性 (A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

270  
古紙配合率70%再生紙を使用しています



<http://www.okayama-u.ac.jp/>